



NPO法人設立準備会通信 No.1

アンガージュマンよこすか

初めてお便りいたします。私達は、昨年末12月26日にNPO法人として神奈川県より認可を頂き、今春4月より活動を始める「アンガージュマンよこすか(代表:小柳良)」です。私達の事業内容は、不登校・高校中退そしてひきこもりの子ども達の居場所、そして様々な学習支援活動です。三浦半島では初めて取り組む、民間そしてNPO法人の子ども達の居場所です。

私達の事業基盤は“**不登校・高校中退・ひきこもりを支援するボランティアグループ未来(代表:鶴岡貴美子さん)**”です。この会は、横須賀市の適応指導教室に通う子どもの親達が、7年前に始めた不登校・高校中退を支援する会です。一昨年より市の助成金を受け、昨年2月より久里浜に活動場所を設け、定例会・学習支援活動を進めてきました。その結果、2月以降の活動内容は飛躍的に拡大しました。定例会19回・参加者381人、講演会等3回・参加者229人、学習支援54回・参加者延べ131人、相談69回・相談者43人です。この間、市の教育委員会や青少年相談センター・保健所・社会福祉協議会・ボランティアセンター、県の青少年課・青少年総合研修センター・社会福祉協議会等と連携し、不登校・ひきこもりの親の相談支援活動を進めてきました。

今年、「アンガージュマンよこすか」設立によって、**ボランティアグループ未来**とは共同対等の関係に立ち、未来事務所及び活動場所を「アンガージュマンよこすか」に置き、不登校・高校中退・ひきこもりの親の支援活動を引き続き進め、私達居場所との連携を進めて行きます。

何故 居場所・学習支援が必要なのでしょう？

横須賀市の統計では不登校は増加しています。文科省が「不登校は誰にでも起こりうる」と提言して久しいのですが、不登校の子ども達への理解や支援は不足しています。ある情報では、市内Y病院は小中学生90人ものカウンセリングを引き受け、不登校対策に貢献しているようです。確かにカウンセリングも大切ですが、子どもや親にとって居場所や学習支援等の「教育的」な場が最も必要だと思います。現在、学校内外に公的な通級教室や相談機関はあります。しかし、教

室や相談機関に不登校の子どもが合わせる形の「適応」型支援となり、限定された子どもへの対応となっているのではないのでしょうか。また教育現場では一人一人を見取り支援する教育が問われていますが、「集団・学校適応」型教育にならざるを得ない現実があるのではないのでしょうか？

時代は個性化です。不登校が増加し学校から溢れ出る現状からも、一人一人の子どもや親のニーズに合う支援の質と内容が問われています。私たちの願いは、不登校・ひきこもりの子どもへの支援を、多様かつ個性的に対応し、一人一人の成長に寄り添って行くことです。

一緒に、居場所のデザインをしませんか？！

しかし、私達が子どもの居場所や学習支援を完全に可能にするとは断言できません。今言えることは、子どもと話しながら、親の願いを聞きながら、一緒に支援のあり方を計画実践し、個別プログラムを追求していく事業であるとお伝えするだけです。4月までの限られた時間に、様々な方々のお知恵とご理解・ご支援を頂き、一歩でも一人一人の子どもと親の願いに近づくよう進めていきたいと思えます。一緒に、居場所のデザインをして頂けるようお願いいたします！？

NPO法人「アンガージュマンよこすか」はこんな組織です

事業内容 フリースペース「あばうと」運営 学習支援（補習・受験・大検）
 学び支援（専門的学び講座） 家庭学習支援（講師派遣、インターネットホームセッション）
 ガイドヘルパー支援（外出支援） カウンセリング・アドバイス支援 各種行事

事業組織

理事会 理事長(理事長):小柳良、理事(副代表):河野勝浩 監事:原正年 他6名(省略)

事務局 事務局長:滝田衛、事務チーフ:吉本照子、経理:河野勝浩、庶務:神保正臣

 フリースペース長:勝又和夫、 学習支援長:山川幸子

連絡先

代表:小柳良 横須賀市衣笠栄町1-34-2-206 TEL:046-850-6651

 e-mail ryou@ops.dti.ne.jp 携帯:09089619422

事務局長:滝田衛 鎌倉市七里ガ浜東2-31-12 TEL:0467-33-1415

 e-mail m-takita@muc.biglobe.ne.jp 携帯:09089619422



4月1日オープンですので、3月より事務所は開きます。お立ち寄りを